



図書だより

令和5年度 No.3
上三川町立北小学校



雨の多い季節、読書を楽しもう

梅雨の時期は、室内で過ごす時間が多くなりますので、読書を楽しむチャンスですね。しとしと降る雨音を聞きながら、ゆっくり本を読んでみては、いかがでしょうか。

今年度も“青少年読書感想文全国コンクール課題図書”が決まりました。学年毎に司書の先生に課題図書のブックトークをしてもらっています。夏休みに、ぜひ挑戦してみましょう。

1・2年生

「それで、いい！」

磯みゆき 作 ポプラ社



きつねは、絵をかくのが大好き！でも、みんなが驚くような絵を描きたいと思い、悩んでしまいます。好きなものに向き合うとは、どんなことなのでしょう。

「よるのあいだに・・・」

みんなをささえる

はたらく人たちは

ポリ・フェイバー 文



BL
出版

私たちが、「おやすみ」を言う時間に、「行ってきます」と仕事にでかける人たちがいます。たくさんの夜にはたらく人たちが出てくる絵本です。

「けんかのたね」

ラッセル・ホーバン 作

岩波書店



けんかには、必ずけんかの原因があります。この家族も、けんかをしてしまいました。いったい何があったのでしょうか？

「うまれてくるよ」

海のなか」

高久至 写真 アリス館



海のなかでも、小さな命がたくさん生まれています。海の生き物が卵を守る姿がたくさんのお写真絵本です。

3・4年生

「ライスボールとみそ蔵と」

横田明子 作

絵本塾 出版



みそ屋にうまれたジュンは、古くさいみそ屋とみそ蔵が大嫌い。でも、帰国子女のユキちゃんとの出会いで、みそに対する考えかたが変わり・・・。

「秘密の大作戦！」

フードバンクどろぼうを

つかまえる」

オンジャリQ

・ラウフ著

あすなろ書房



毎日の食事にさえ困っている主人公の家族。その支えとなっているのが「フードバンク」です。世界の現状を知ってもらいたい1冊です。

「化石をよぶ声がきこえる」

天才恐竜ハンター

ウェンディ・スロボーダ」

ヘレイン・

ベッカー作

くもん出版



子どもの頃から、大好きな化石を探し続けた少女が、見つけた大発見！好きをつづけることのすばらしさを教えてくれる伝記絵本です。

「給食室のいちにち」

大塚菜生 文

少年写真新聞社



給食は毎日どのようにして作られているのか？作る人たちは、どんな作業をしているのか？給食をもっと身近に感じられる絵本です。

5・6年生

「ふたりのえびす」

高森美由紀 作

フレーベル館



郷土芸能の「えびす舞」を踊ることになった2人の男子。でもそれぞれ人には言えない悩みをもっています。2人が抱える悩みとは？

「5 番レーン」

ウン・ソホル 作

鈴木出版



勝つことがすべてだと思っている水泳部でエースのナルは、他校の児童に試合で負けてしまいます。悩み成長していく、韓国の青春物語です。

「魔女だったかも」

しれないわたし」

エル・マクニコル 著

PHP研究所



人とちがうことに生きづらさを感じている11歳の少女。昔、村で魔女狩りがあったことをしり、慰霊碑をたてようと思います。

「中村哲物語：大地をうるおし平和につくした医師」

大地をうるおし平和につくした医師」

松島

恵利子 著

汐文社



病気や水不足に苦しむアフガニスタンの人々のために一生をささげた中村医師の生涯をつづった伝記です。

